

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2012年03月05日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2011000011"/>	整理番号 <input type="text" value="11548"/>	担当者 <input type="text" value="渡辺 麻裕"/>
表 題	<input type="text" value="緑色から赤色に発光する新規蛍光体"/>		
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/>	<input type="text" value="電気・電子"/>	<input type="text"/>
適用製品	<input type="text" value="白色LED, 照明, 景観材料"/>		
目 的	<input type="text" value="Eu3+を蛍光体に付活することにより赤色, Tb3+を付活すると緑色発光する蛍光体が得られる。今回はこの両者を構造内に取り込むことにより緑色から赤色に連続的に発光色を変えられる蛍光体を開発した。また, 励起波長は379nmであり, 最近はやりの近紫外LED照射により発光することが可能であり, 本発明の蛍光体を用いることにより高演色性の白色LEDを作製することができる。"/>		
技術概要	<input type="text" value="Eu3+およびTb3+ともにf-f遷移をする。このため, 発光は鋭い発光となり, 鮮やかな発光色を得ることができる。これまで, Eu3+の励起波長は395nmよく知られていたが, Tb3+を単独で発光させる最適励起波長は300nm以下であった。ケイ酸カルシウム水和物(CSH)を母体とし, この層間にこれらイオンを導入した結果, Tb3+からEu3+への電子伝達が確認された。これにより, Tb3+に起因する緑色およびEu3+に起因する赤色の両方に発光スペクトルをもつ蛍光体を得ることができた。すなわち, 蛍光体合成時のEu/Tb原子比を変化させることにより, 緑色(543nm)から赤色(612nm)まで連続的にさまざまな発光色を示す蛍光体の開発に成功した。"/>		

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いづれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp